



バカ イロ 2



まっかになっ
願の前にさらけ出された耳たぶに、かり、と歯を「ひ
ガクガクと寒戦のようにカラダを揺らしながら秀吉が腕を突っ













よさぬか!

よっ



ああ、もう
下着シミに
なっちゃってる

じゅ...



約束した
だろ
秀吉?

なんでも
言うこと
聞かって



スカート
自分で
持ってて

出来る
よね?

キレッ



あり
がとう

ああっ！

びく!

びく

びく

びく

はっ!

あっ



ふあ!

は、

先っぽから
どんどん
あふれて
くる

あふ

あふ

あふ



はっ

すごいよ
秀吉



























じゃあ

なにを心配
してるの？

おん



ワシが
言っておるのは
そんなこと
ではない！

おん
おん



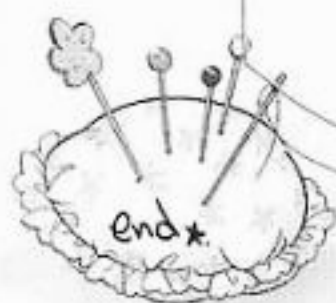
……もし

その衣裳を
着て……

舞台の上で
……その……
思い出して
しまったら
どうして
くれるのじゃ！



今すぐ
ムツツリーニに
替えの衣裳を
作ってもらわ
ないと！



それは
大問題だ！

がはっ！

ひゃい



バカ カ エ ロ ♡ 2



むき...と「この衣装は次の舞台の衣装なのだぞ。座って...じゃ汚れないと思うよ。なのにどうして秀吉は、ちげて真っ赤になって明久をみる。「おしえてほしいなー？」と手を後ろ頭にそえて秀吉が逃げられないようにすると、やう！」秀吉のカラダがビクンと跳ねた。「やっ、やめっっ！」振る。「つまり秀吉はこういうことを期待してるってこと？」